

段階 1	行為者	内容
Proposal Review (研究計画構想)		<ul style="list-style-type: none"> ・学位を申請しようとする者は、研究計画の段階で、「課題研究構想ワークショップ (“Research Design Workshop”）」において、研究構想・計画について報告し、学位論文執筆を開始する水準にあると判断されなければならない。 ・2年次を終えるまでに実施することが望ましい。
	学生→指導教員	Reviewの実施日時、審査委員の選出等を、指導教員に依頼する。 ※周知期間確保のため、実施日はなるべく2週間後以降に設定。
	指導教員→大学院チーム	Reviewの実施日時、場所、審査委員名を大学院チームに報告する。
	大学院チーム	Reviewの実施日時と場所を、HPで周知する。
	学生、審査委員	【Proposal Review (研究計画構想) 実施】
	指導教員→大学院チーム	学位論文執筆を開始する水準にあるか否か (合格・不合格)、指導教員は、Review実施後速やかに所定様式により報告
	指導教員	Reviewが実施された旨、教育会議で報告
段階 2	行為者	内容
Interim Review (予備審査)		Proposal Reviewにおいて、学位論文執筆を開始する水準にあると判定された者で、博士論文全体のドラフト (予備審査論文) を提出した者は、Interim Reviewに参加できる。
	学生→指導教員	博士論文全体のドラフト (以下、予備審査論文) を完成後、指導教員にInterim Reviewの実施について内諾をとる。
	学生→大学院チーム	内諾がとれたことを大学院チームに報告する。
	大学院チーム→指導教員	Reviewの実施時期、審査委員 (案) の選出等を依頼。 ※周知期間確保のため、実施日は、なるべく2週間後以降に設定。
	指導教員→大学院チーム	主査/審査委員 (案) 及び実施日時・場所を決定のうえ、大学院チームに報告。 ※実施日時・場所が未定の場合は、決定次第報告。
	大学院チーム	Reviewの実施日時と場所 (案) を、HPで周知。
	審査委員会 (主査)	教育会議にて、審査委員会の設置、審査委員の構成について説明、付議。
	学生、審査委員会	【Interim Review (予備審査) 実施】
	主査→大学院チーム	Review実施後速やかに、所定様式により、判定結果を報告 (合格、条件付き合格、不合格)。
	審査委員会 (主査)	教育会議にて、審査結果の報告、付議。
段階 3	行為者	内容
Final Review (最終審査・本審査)		Interim Reviewに合格した者は、学位論文を提出できる。
	学生→指導教員	博士論文完成後、指導教員にFinal Reviewの実施について内諾をとる。
	学生→大学院チーム	内諾がとれたことを大学院チームに報告する。
	学生→大学院チーム	学位申請論文、論文の内容の要旨等、所定書類一式を提出
	大学院チーム→指導教員	Reviewの実施時期、審査委員 (案) の選出等を依頼。 ※周知期間確保のため、実施日は、なるべく2週間後以降に設定。
	指導教員→大学院チーム	主査/審査委員 (案) 及び実施日時・場所を決定のうえ、大学院チームに報告。 ※実施日時・場所が未定の場合は、決定次第報告。
	大学院チーム	Reviewの実施日時と場所 (案) を、HPで周知。
	審査委員会 (主査)	教育会議にて、審査委員会の設置、審査委員の構成について説明、付議。
	学生、審査委員会	【Final Review (最終審査・本審査) 実施】
	主査→大学院チーム	Review実施後速やかに、所定様式により、判定結果を報告 (合格、不合格)。
	審査委員会 (主査)	論文審査、最終試験を終了したときは、直ちに論文の内容の要旨、論文審査の結果の要旨、最終試験の結果の要旨に、学位を授与できるか否かの意見を添え、教育会議に文書で報告しなければならない。
	学生→大学院チーム	本審査終了後の論文及び提出書類